

「救急安心センターおおさか」に関するアンケート調査(結果)

1 調査概要

救急安心センターおおさかは、大阪府内全域の住民を対象として事業を実施していますが、実際に利用された方の有用度(満足度)や、利用後の意識等について調査することにより、今後における当該事業の円滑な事業運営に必要な施策等の検討資料とする目的で実施したものです。

2 調査対象

大阪府内在住の方で、過去に救急安心センターおおさかを利用したことがある方
1,000標本(うち、大阪市内在住の方500標本)

※ 大阪市以外在住の方(500標本)の割付けについては、下表のとおり各市町村の人口分布割合に基づいて按分したものです。

ブロック	希望 標本数	獲得 標本数	市町村
	500	500	大阪市
北	141	141	豊中市・池田市・吹田市・高槻市・茨木市・箕面市 摂津市・島本町・豊能町・能勢町
東	154	154	守口市・枚方市・八尾市・寝屋川市・東大阪市 大東市・門真市・四條畷市・交野市
中	55	55	富田林市・河内長野市・松原市・柏原市・羽曳野市 藤井寺市・大阪狭山市・太子町・河南町・千原赤阪村
南	150	150	堺市・岸和田市・泉津市・貝塚市・泉佐野市・和泉市 高石市・泉南市・阪南市・忠岡町・熊取町・田尻町・岬町
合計	1,000	1,000	

3 調査期間

平成31年2月28日から平成31年3月1日

4 調査実施機関

株式会社クロス・マーケティング

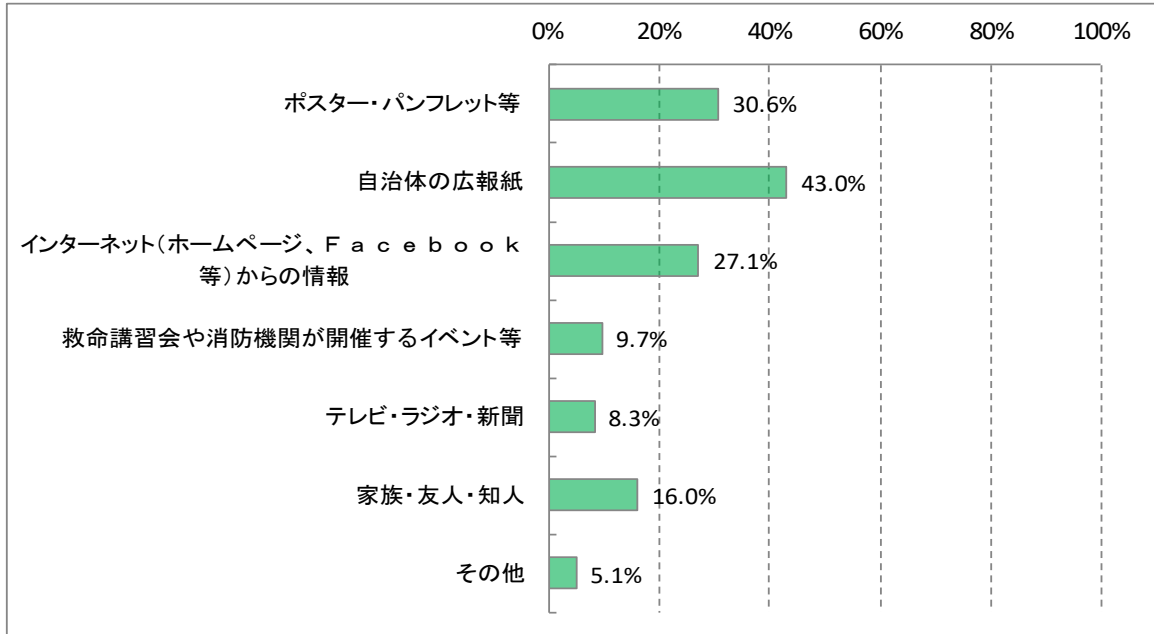
5 調査方法

インターネットを利用したウェブアンケート調査

「救急安心センターおおさか」に関するアンケート意識調査結果(詳細)

Q1 救急安心センターおおさかは、何を通じて知りましたか？
次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

■回答対象者 = 1000



	全体	ポスター・パンフレット等	自治体の広報紙	インターネット(ホームページ、Facebook等)からの情報	救命講習会や消防機関が開催するイベント等	テレビ・ラジオ・新聞	家族・友人・知人	その他
全体	1000 (100.0%)	306 (30.6%)	430 (43.0%)	271 (27.1%)	97 (9.7%)	83 (8.3%)	160 (16.0%)	51 (5.1%)
大阪市	500 (100.0%)	137 (27.4%)	215 (43.0%)	149 (29.8%)	41 (8.2%)	45 (9.0%)	75 (15.0%)	21 (4.2%)
北エリア	141 (100.0%)	42 (29.8%)	62 (44.0%)	37 (26.2%)	17 (12.1%)	17 (12.1%)	26 (18.4%)	6 (4.3%)
東エリア	154 (100.0%)	50 (32.5%)	66 (42.9%)	42 (27.3%)	13 (8.4%)	8 (5.2%)	25 (16.2%)	9 (5.8%)
中エリア	55 (100.0%)	26 (47.3%)	22 (40.0%)	8 (14.5%)	11 (20.0%)	2 (3.6%)	12 (21.8%)	4 (7.3%)
南エリア	150 (100.0%)	51 (34.0%)	65 (43.3%)	35 (23.3%)	15 (10.0%)	11 (7.3%)	22 (14.7%)	11 (7.3%)

		全体	ポスター・パンフレット等	自治体の広報紙	インターネット (ホームページ、Facebook等)からの情報	救命講習会や消防機関が開催するイベント等	テレビ・ラジオ・新聞	家族・友人・知人	その他
全体		1000 (100.0%)	306 (30.6%)	430 (43.0%)	271 (27.1%)	97 (9.7%)	83 (8.3%)	160 (16.0%)	51 (5.1%)
男	20代	15 (100.0%)	7 (46.7%)	4 (26.7%)	3 (20.0%)	2 (13.3%)	3 (20.0%)	2 (13.3%)	1 (6.7%)
	30代	57 (100.0%)	21 (36.8%)	26 (45.6%)	20 (35.1%)	13 (22.8%)	5 (8.8%)	11 (19.3%)	1 (1.8%)
	40代	134 (100.0%)	43 (32.1%)	46 (34.3%)	51 (38.1%)	18 (13.4%)	17 (12.7%)	14 (10.4%)	5 (3.7%)
	50代	134 (100.0%)	31 (23.1%)	56 (41.8%)	50 (37.3%)	16 (11.9%)	8 (6.0%)	18 (13.4%)	5 (3.7%)
	60代以上	110 (100.0%)	24 (21.8%)	62 (56.4%)	19 (17.3%)	8 (7.3%)	17 (15.5%)	20 (18.2%)	8 (7.3%)
女	20代	56 (100.0%)	16 (28.6%)	11 (19.6%)	16 (28.6%)	5 (8.9%)	2 (3.6%)	19 (33.9%)	2 (3.6%)
	30代	156 (100.0%)	52 (33.3%)	56 (35.9%)	45 (28.8%)	9 (5.8%)	4 (2.6%)	23 (14.7%)	12 (7.7%)
	40代	197 (100.0%)	78 (39.6%)	94 (47.7%)	43 (21.8%)	13 (6.6%)	10 (5.1%)	29 (14.7%)	11 (5.6%)
	50代	101 (100.0%)	25 (24.8%)	51 (50.5%)	24 (23.8%)	10 (9.9%)	11 (10.9%)	17 (16.8%)	4 (4.0%)
	60代以上	40 (100.0%)	9 (22.5%)	24 (60.0%)	0 (0.0%)	3 (7.5%)	6 (15.0%)	7 (17.5%)	2 (5.0%)

【全体的な傾向】

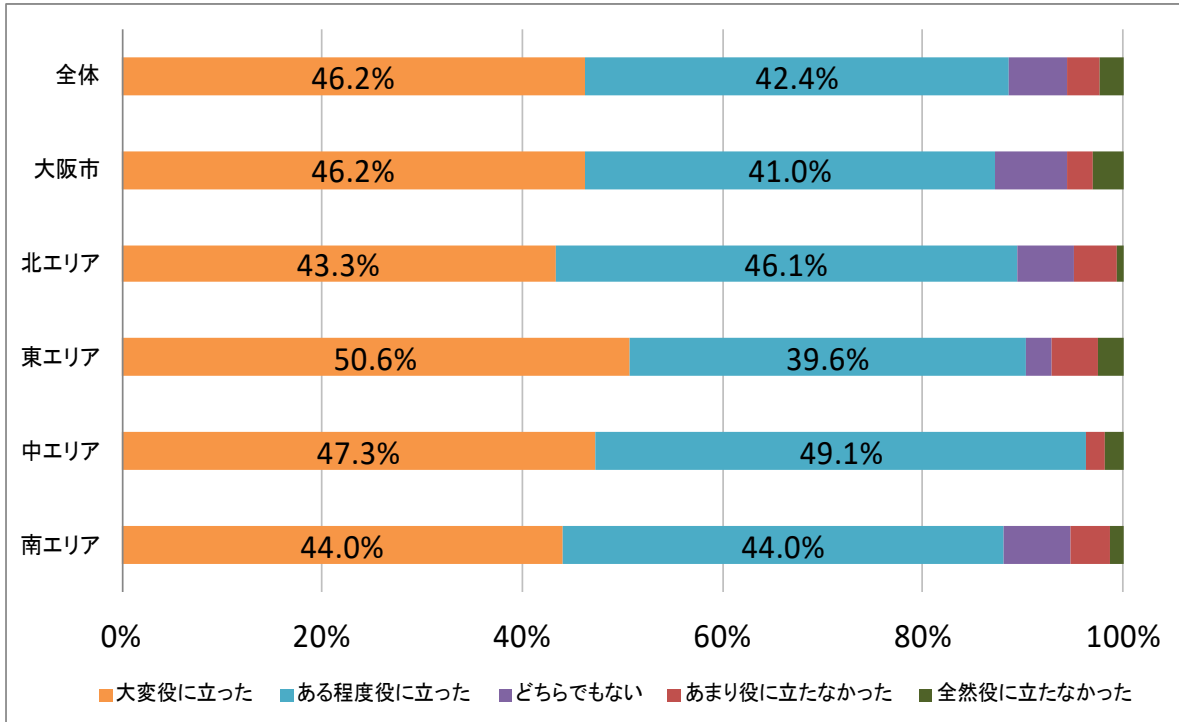
広報媒体としては、「自治体の広報紙」が最も多く全体の43.0%、「ポスター・パンフレット等」が30.6%と、当該事業を紙媒体で認知した方が全体の73.6%を占めるという結果となりました。

Q2 救急安心センターおおさかは、役に立ちましたか？

次の中からあてはまるものをお選びください。

※複数回利用したことがある方は、総合的に役に立ったかどうかをお答えください。
以降の質問も同様にお考えください。

■回答対象者 = 1000



	全体	大変役に 立った	ある程度 役に立っ た	どちらで もない	あまり役 に立たな かった	全然役に 立たな かった
全体	1000 (100.0%)	462 (46.2%)	424 (42.4%)	58 (5.8%)	33 (3.3%)	23 (2.3%)
大阪市	500 (100.0%)	231 (46.2%)	205 (41.0%)	36 (7.2%)	13 (2.6%)	15 (3.0%)
北エリア	141 (100.0%)	61 (43.3%)	65 (46.1%)	8 (5.7%)	6 (4.3%)	1 (0.7%)
東エリア	154 (100.0%)	78 (50.6%)	61 (39.6%)	4 (2.6%)	7 (4.5%)	4 (2.6%)
中エリア	55 (100.0%)	26 (47.3%)	27 (49.1%)	0 (0.0%)	1 (1.8%)	1 (1.8%)
南エリア	150 (100.0%)	66 (44.0%)	66 (44.0%)	10 (6.7%)	6 (4.0%)	2 (1.3%)

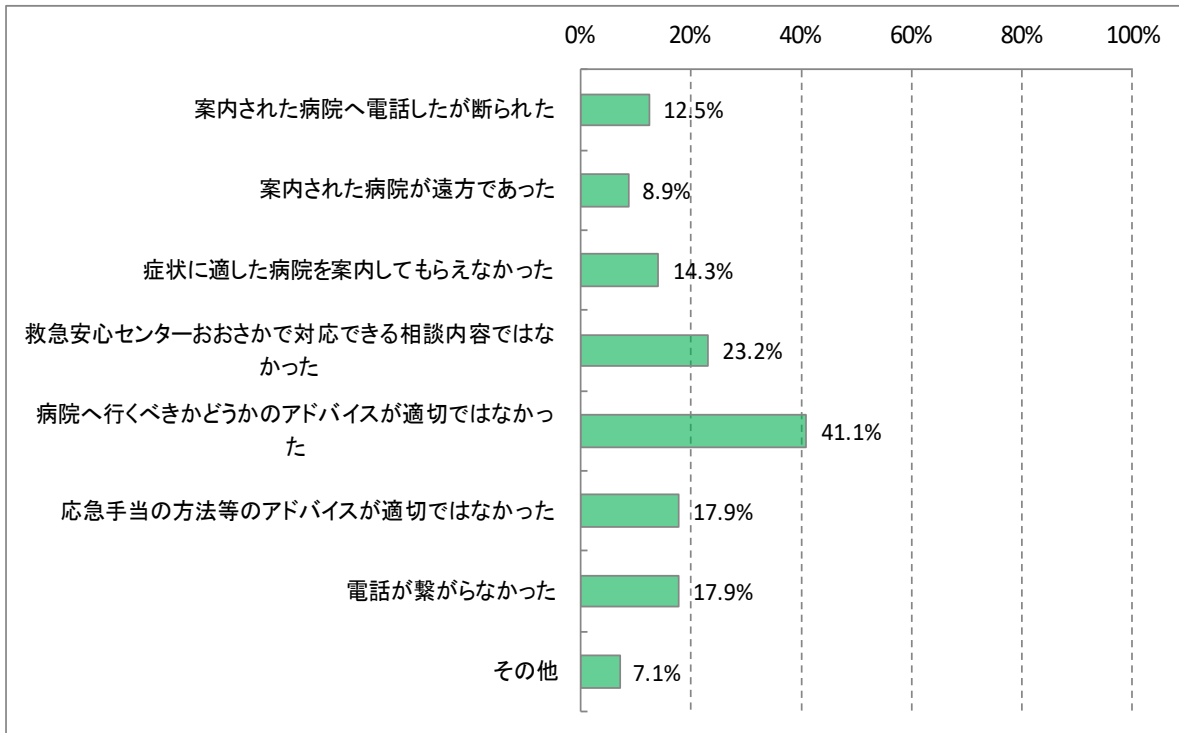
		全体	大変役に 立った	ある程度 役に立っ た	どちらで もない	あまり役 に立たな かった	全然役に 立たな かった
全体		1000 (100.0%)	462 (46.2%)	424 (42.4%)	58 (5.8%)	33 (3.3%)	23 (2.3%)
男	20代	15 (100.0%)	3 (20.0%)	8 (53.3%)	4 (26.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30代	57 (100.0%)	24 (42.1%)	28 (49.1%)	4 (7.0%)	1 (1.8%)	0 (0.0%)
	40代	134 (100.0%)	57 (42.5%)	58 (43.3%)	8 (6.0%)	5 (3.7%)	6 (4.5%)
	50代	134 (100.0%)	56 (41.8%)	61 (45.5%)	10 (7.5%)	4 (3.0%)	3 (2.2%)
	60代以上	110 (100.0%)	61 (55.5%)	40 (36.4%)	3 (2.7%)	2 (1.8%)	4 (3.6%)
女	20代	56 (100.0%)	24 (42.9%)	28 (50.0%)	2 (3.6%)	1 (1.8%)	1 (1.8%)
	30代	156 (100.0%)	70 (44.9%)	67 (42.9%)	9 (5.8%)	8 (5.1%)	2 (1.3%)
	40代	197 (100.0%)	101 (51.3%)	74 (37.6%)	9 (4.6%)	7 (3.6%)	6 (3.0%)
	50代	101 (100.0%)	45 (44.6%)	43 (42.6%)	7 (6.9%)	5 (5.0%)	1 (1.0%)
	60代以上	40 (100.0%)	21 (52.5%)	17 (42.5%)	2 (5.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

【全体的な傾向】

「大変役に立った」「ある程度役に立った」の合計が、全体の88.6%を占めるという結果となりました。

Q3 前問で「あまり役に立たなかった」又は「全然役に立たなかった」と回答された方にお聞きします。
その理由は何ですか？次の中からあてはまるものをすべてお選びください。
(複数回答可)

■回答対象者=56



	全体	案内された病院へ電話したが断られた	案内された病院が遠方であった	症状に適した病院を案内してもらえなかった	救急安心センターおおさかに対応できる相談内容ではなかった	病院へ行くべきかどうかのアドバイスが適切ではなかった	応急手当の方法等のアドバイスが適切ではなかった	電話が繋がらなかった	その他
全体	56 (100.0%)	7 (12.5%)	5 (8.9%)	8 (14.3%)	13 (23.2%)	23 (41.1%)	10 (17.9%)	10 (17.9%)	4 (7.1%)
大阪市	28 (100.0%)	5 (17.9%)	3 (10.7%)	7 (25.0%)	7 (25.0%)	11 (39.3%)	5 (17.9%)	3 (10.7%)	4 (14.3%)
北エリア	7 (100.0%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)
東エリア	11 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	7 (63.6%)	3 (27.3%)	3 (27.3%)	0 (0.0%)
中エリア	2 (100.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)
南エリア	8 (100.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	4 (50.0%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)

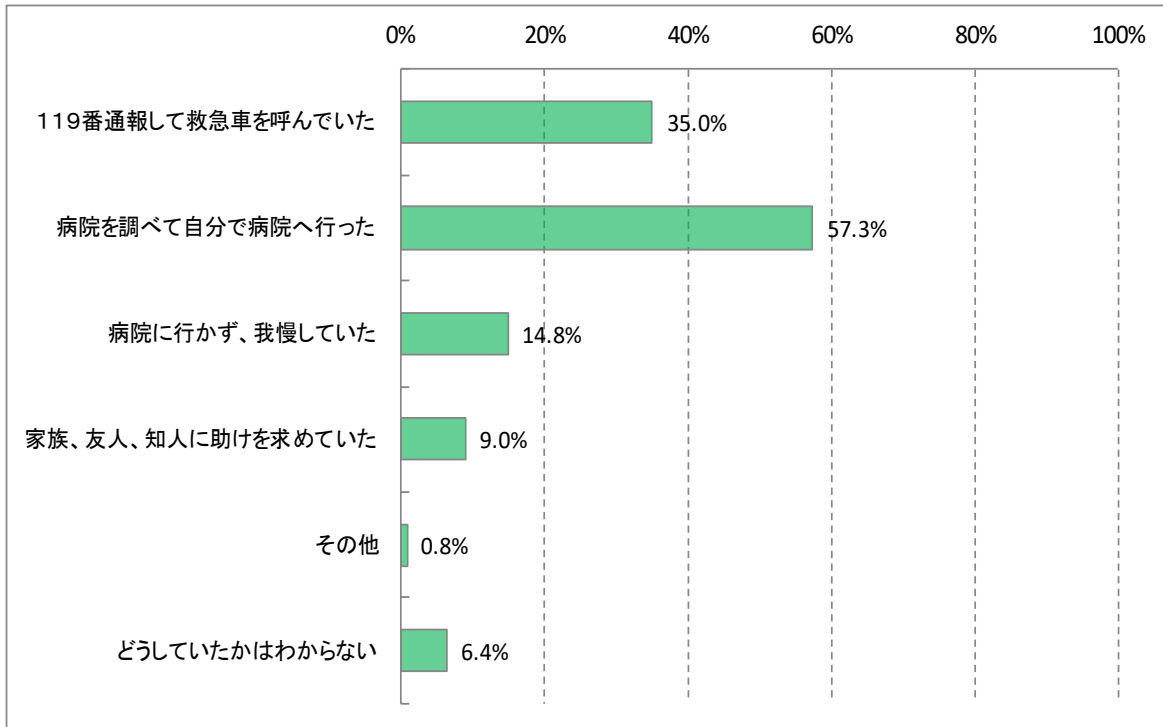
		全体	案内された病院へ電話したが断られた	案内された病院が遠方であった	症状に適した病院を案内してもらえなかった	救急安心センターおおさかに対応できる相談内容ではなかった	病院へ行くべきかどうかのアドバイスが適切ではなかった	応急手当の方法等のアドバイスが適切ではなかった	電話が繋がらなかった	その他
全体		56 (100.0%)	7 (12.5%)	5 (8.9%)	8 (14.3%)	13 (23.2%)	23 (41.1%)	10 (17.9%)	10 (17.9%)	4 (7.1%)
男	20代	0 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30代	1 (100.0%)	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	40代	11 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (18.2%)	2 (18.2%)	4 (36.4%)	3 (27.3%)	3 (27.3%)	1 (9.1%)
	50代	7 (100.0%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)
	60代以上	6 (100.0%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)
女	20代	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)
	30代	10 (100.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	4 (40.0%)	7 (70.0%)	1 (10.0%)	2 (20.0%)	0 (0.0%)
	40代	13 (100.0%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	2 (15.4%)	7 (53.8%)	2 (15.4%)	1 (7.7%)	2 (15.4%)
	50代	6 (100.0%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)
	60代以上	0 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

【全体的な傾向】

「病院へ行くべきかどうかのアドバイスが適切ではなかった」が最も多く全体の41.1%、次いで「救急安心センターおおさかに対応できる相談内容ではなかった」全体の23.2%という結果となりました。

Q4 救急安心センターおおさかがなかったら、その時どうしていたと思いますか？
次の中からあてはまるものをすべてお選びください。(複数回答可)

■回答対象者 = 1000



	全体	119番通報して救急車を呼んでいた	病院を調べて自分で病院へ行った	病院に行かず、我慢していた	家族、友人、知人に助けを求めていた	その他	どうしていたかはわからない
全体	1000 (100.0%)	350 (35.0%)	573 (57.3%)	148 (14.8%)	90 (9.0%)	8 (0.8%)	64 (6.4%)
大阪市	500 (100.0%)	184 (36.8%)	287 (57.4%)	78 (15.6%)	48 (9.6%)	4 (0.8%)	33 (6.6%)
北エリア	141 (100.0%)	43 (30.5%)	79 (56.0%)	28 (19.9%)	11 (7.8%)	1 (0.7%)	7 (5.0%)
東エリア	154 (100.0%)	49 (31.8%)	85 (55.2%)	23 (14.9%)	9 (5.8%)	2 (1.3%)	14 (9.1%)
中エリア	55 (100.0%)	23 (41.8%)	34 (61.8%)	2 (3.6%)	7 (12.7%)	1 (1.8%)	2 (3.6%)
南エリア	150 (100.0%)	51 (34.0%)	88 (58.7%)	17 (11.3%)	15 (10.0%)	0 (0.0%)	8 (5.3%)

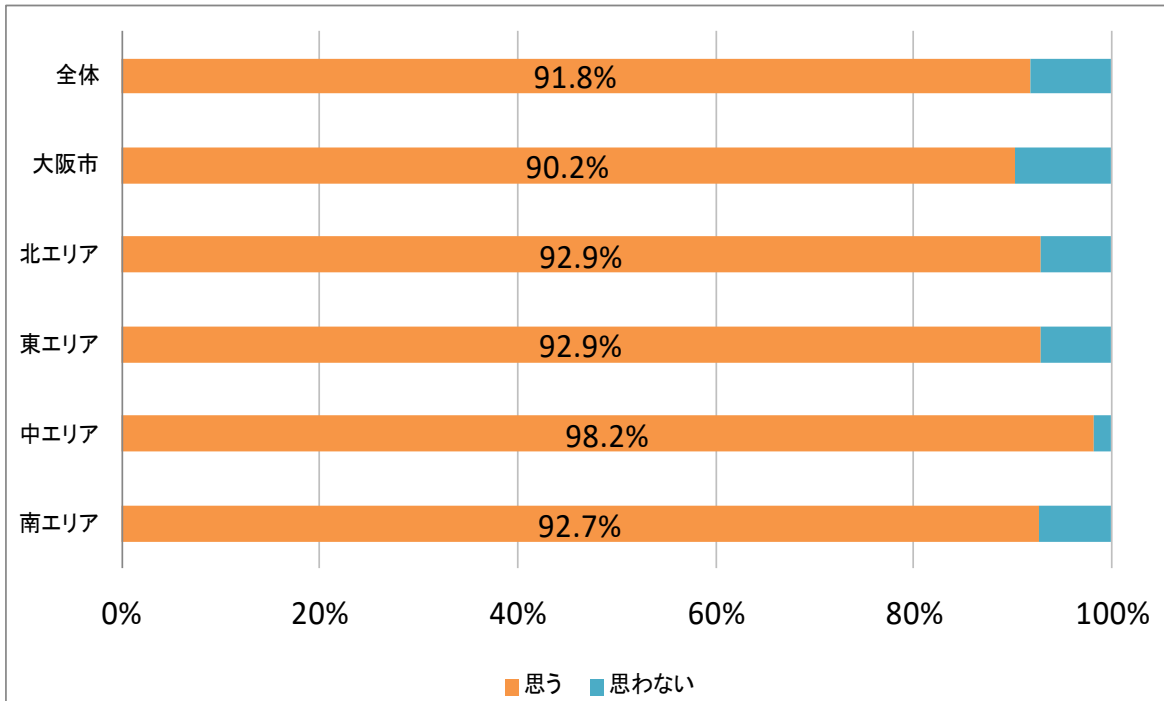
		全体	119番 通報して 救急車を 呼んでいた	病院を調 べて自分 で病院へ 行った	病院に行 かず、我 慢してい た	家族、友 人、知人 に助けを 求めてい た	その他	どうして いたかは わからな い
全体		1000 (100.0%)	350 (35.0%)	573 (57.3%)	148 (14.8%)	90 (9.0%)	8 (0.8%)	64 (6.4%)
男	20代	15 (100.0%)	5 (33.3%)	9 (60.0%)	5 (33.3%)	1 (6.7%)	0 (0.0%)	2 (13.3%)
	30代	57 (100.0%)	21 (36.8%)	35 (61.4%)	8 (14.0%)	8 (14.0%)	0 (0.0%)	3 (5.3%)
	40代	134 (100.0%)	51 (38.1%)	72 (53.7%)	17 (12.7%)	12 (9.0%)	1 (0.7%)	7 (5.2%)
	50代	134 (100.0%)	53 (39.6%)	82 (61.2%)	14 (10.4%)	6 (4.5%)	2 (1.5%)	5 (3.7%)
	60代以上	110 (100.0%)	61 (55.5%)	47 (42.7%)	7 (6.4%)	5 (4.5%)	0 (0.0%)	6 (5.5%)
女	20代	56 (100.0%)	12 (21.4%)	28 (50.0%)	8 (14.3%)	7 (12.5%)	0 (0.0%)	8 (14.3%)
	30代	156 (100.0%)	37 (23.7%)	98 (62.8%)	26 (16.7%)	18 (11.5%)	1 (0.6%)	13 (8.3%)
	40代	197 (100.0%)	49 (24.9%)	130 (66.0%)	37 (18.8%)	22 (11.2%)	2 (1.0%)	12 (6.1%)
	50代	101 (100.0%)	50 (49.5%)	50 (49.5%)	19 (18.8%)	7 (6.9%)	2 (2.0%)	5 (5.0%)
	60代以上	40 (100.0%)	11 (27.5%)	22 (55.0%)	7 (17.5%)	4 (10.0%)	0 (0.0%)	3 (7.5%)

【全体的な傾向】

「病院を調べて自分で病院へ行った」が最も多く全体の57.3%、次いで「119番通報して、救急車を呼んでいた」が全体の35.0%という結果となりました。

Q5 今後も救急安心センターおおさかを利用しようと思いますか？
次の中からあてはまるものをお選びください。

■ 回答対象者 = 1000



	全体	思う	思わない
全体	1000 (100.0%)	918 (91.8%)	82 (8.2%)
大阪市	500 (100.0%)	451 (90.2%)	49 (9.8%)
北エリア	141 (100.0%)	131 (92.9%)	10 (7.1%)
東エリア	154 (100.0%)	143 (92.9%)	11 (7.1%)
中エリア	55 (100.0%)	54 (98.2%)	1 (1.8%)
南エリア	150 (100.0%)	139 (92.7%)	11 (7.3%)

		全体	思う	思わない
全体		1000 (100.0%)	918 (91.8%)	82 (8.2%)
男	20代	15 (100.0%)	13 (86.7%)	2 (13.3%)
	30代	57 (100.0%)	51 (89.5%)	6 (10.5%)
	40代	134 (100.0%)	122 (91.0%)	12 (9.0%)
	50代	134 (100.0%)	126 (94.0%)	8 (6.0%)
	60代以上	110 (100.0%)	105 (95.5%)	5 (4.5%)
女	20代	56 (100.0%)	52 (92.9%)	4 (7.1%)
	30代	156 (100.0%)	141 (90.4%)	15 (9.6%)
	40代	197 (100.0%)	180 (91.4%)	17 (8.6%)
	50代	101 (100.0%)	88 (87.1%)	13 (12.9%)
	60代以上	40 (100.0%)	40 (100.0%)	0 (0.0%)